

平成 29 年 度

事業報告書

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会

平成 29 年度 事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

本年度の平成 30 年 3 月 31 日現在における事業実施状況は、次のとおりである。

1. 会 員

平成 30 年 3 月 31 日現在の会員数は次のとおりである。

会員数	23 会員
・ 地区乗馬倶楽部振興会	20 会員
・ 目的賛同団体	3 団体

2. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者等登録事業

乗馬施設等登録規程に基づく登録は次のとおりであり、乗馬施設の登録は対前年比 2 乗馬施設減(6 乗馬施設増、8 乗馬施設減)、乗用馬登録は前年比 58 頭増、乗馬指導者は対前年比 21 名の増加であった。

乗馬施設 273 乗馬施設 一別表(1)

乗用馬 5,146 頭

乗馬指導者 1,901 名(上級 B 136・W3 名、中級 B 248・W31 名、初級 B 1,415・W68 名)

別表(1)

平成 29 年度 加入乗馬施設数の推移

地 区 名	平成 28 年度末	平成 29 年度			
		入会	退会	乗馬施設数	うち休会
北 海 道	21			21	
東 北	12			12	1
北 関 東	27			27	
埼 玉	11	1		12	
千 葉	28			28	
東 京	5			5	
神 奈 川	20			20	
北 陸	7			7	
長 野	12		2	10	

地区名	平成 28 年度末	平成 29 年度			
		入会	退会	乗馬施設数	うち休会
山 梨	11		1	10	
静 岡	15	2		17	
東 海	13			13	
東 近 畿	13		1	12	
京 阪	18	1		19	
兵 庫	8		1	7	
中 国	18	1		19	
四 国	7			7	
北 部 九 州	13		2	11	1
中 九 州	11		1	10	
南 九 州	5	1		6	
合 計	275	6	8	273	2

【新規加入乗馬クラブ】

アップリケ牧場	(埼玉地区・埼玉県)
岡本ライディングクラブ・ジャパン	(静岡地区・静岡県)
天城ホースビレッジ	(静岡地区・静岡県)
乗馬クラブクレイン北大阪	(京阪地区・大阪府)
乗馬クラブクレイン東広島	(中国地区・広島県)
Master Horse	(南九州地区・鹿児島県)

【退会乗馬クラブ】

明松寺馬亭公苑	(長野地区・長野県)
軽井沢乗馬倶楽部	(長野地区・長野県)
小須田牧場	(山梨地区・山梨県)
三栄乗馬クラブ	(東近畿地区・奈良県)
武庫之荘乗馬クラブ	(兵庫地区・兵庫県)
自悠学園乗馬クラブ	(北部九州地区・福岡県)
若松乗馬クラブ	(北部九州地区・福岡県)
ごとう乗馬クラブ	(中九州地区・長崎県)

【休会乗馬クラブ】

湯の町乗馬クラブ	(東北地区・山形県)
マーキュリーRC	(北部九州地区・福岡県)

3. 諸会議等

平成 29 年度に開催した主な会議等は、次のとおりである。

《総会の開催》

定時社員総会

6月20日

議題

1. 平成 28 年度事業報告について
2. 平成 28 年度会計決算報告について
3. 理事辞任に伴う後任理事の選任について

《理事会の開催》

第 1 回理事会

5月30日

議題

1. 平成 29 年度定時社員総会に付議する議案について
2. 平成 29 年定時社員総会の開催について
3. 乗馬指導者資格認定規程の一部改正について
4. 業務執行理事の報告について

第 2 回理事会

12月12日

議題

1. 平成 29 年度収支補正予算について
2. 寄付金等取扱い規程の改正について
3. 業務執行理事報告

第 3 回理事会

平成 30 年 2 月 19 日

議題

1. 平成 30 年度事業計画・収支予算（案）について
2. 平成 30 年度定時社員総会の開催について
3. 事務局長の任免について
4. 給与規程の改正（案）について
5. 再貸付事業積立資産の取崩について

《その他の会議等の開催》

常務理事会

5月30日、6月20日、12月12日、
平成 30 年 2 月 19 日

地区会長会議

平成 30 年 2 月 19 日、20 日

指導者資格試験問題作成委員会

6月6日、7月28日、平成 30 年 3 月 18 日

指導者資格審査委員研修会

6月6日

指導者資格合否判定会議	11月29日
大衆と馬とのふれあいタイム 事業推進委員会	6月8日、平成30年3月8日
乗用馬防疫推進事業委員会	8月16日、平成30年3月9日
馬の流通に係る調教技術向上推進事業委員会	平成30年3月12日
優良乗馬施設認定審査委員会	平成30年3月19日
・競馬振興事業（事業年度1月～12月）	
平成29年 被災地支援等における馬との ふれあい活動事業推進委員会	6月8日、12月1日
平成29年 馬の多様な利活用を推進する ための講習会開催等事業推進委員会	4月17日、8月31日、12月8日
平成30年 馬の多様な利活用を推進する 講習会開催等事業推進委員会	平成30年3月23日
平成29年 障がい者乗馬・ホースセラピー 活動を支援する事業推進委員会	4月17日、8月31日、12月8日
平成30年 障がい者乗馬・ホースセラピー 活動等を支援するための事業推進委員会	平成30年3月23日
平成29年 引退競走馬のセカンドキャリア を支援する事業推進委員会	4月18日、8月22日、12月19日
平成30年 民間における引退競走馬の利活 用促進等に関する事業推進委員会	平成30年3月27日

4. 人事関係

平成29年度における役員等の異動は、次のとおりであった。

退任理事	楠瀬 良	(6月20日)
〃 理事	山田 淑之	〃
選任理事	高松 勝憲	(6月20日)
〃 理事	吉村 喜信	〃

5. 乗馬普及事業

広く一般市民に乗馬普及を図るため下記事業を行った。

(1) 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業

JRAからの助成を受け地域の児童から高齢者に至るまでを対象に、行政機関や教育機関、

地域社会等と連携し一般市民が馬とふれあう機会を増加させ、馬の持つ魅力を広く伝えるとともに地域振興等に有意義であると認められる事業を主催もしくは協力した乗馬施設に対して補助金を交付しており、事業の実施件数は67件であった。

(2) 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業

JRAからの助成を受け、被災した地域の住民と馬とのふれあい活動を行うことにより、被災地の子供及び家族に明るく元気になってもらい、心身の健全な発展に寄与する事業を実施した。本年度より平成28年に発生した熊本地震による熊本県・大分県ならびに台風10号の被害による北海道日高・十勝・根釧地域が事業の対象地となった。実施件数は現地訪問型71件、乗馬施設招致型40件、都市部開催型1件であった。

(3) 乗馬技能認定事業

① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の乗馬技術の向上意欲を図り、また効率的で安全な指導を行うため乗馬技能認定を行い、合格者に認定証を交付した。

なお、申請者数は10,902名、合格者10,559名であり、審査回数は1,577回、技能認定審査実施乗馬施設数は163施設であった。 －別表(2)

また、ウエスタン乗馬技能認定を普及するため、4月13日北海道芽部郡森町でウエスタン乗馬技能認定審査員講習会を開催した。

別表(2)

平成29年度 乗馬技能認定結果

(単位：名)

年 度		28年度	29年度	前年度比
審査回数		1,494	1,577	105.6%
クラブ数		155	163	105.2%
5級	申 請	5,438	5,624	105.6%
	合 格	5,433	5,620	105.2%
ウエスタン5級	申 請	35	44	105.6%
	合 格	35	44	125.7%
4級	申 請	2,571	2,579	100.3%
	合 格	2,561	2,559	99.9%
ウエスタン4級	申 請	15	35	233.3%
	合 格	14	32	228.6%

年 度		28年度	29年度	前年度比
3級	申請	1,365	1,430	104.8%
	合格	1,220	1,270	104.1%
ウエスタン3級	申請	6	13	216.7%
	合格	5	10	125.7%
エンデュランス3級	申請	48	32	100.3%
	合格	45	32	71.1%
3級障害	申請	219	269	122.8%
	合格	214	256	119.6%
2級障害	申請	140	123	87.9%
	合格	138	115	83.3%
2級馬場	申請	485	575	118.6%
	合格	433	479	110.6%
ウエスタン2級	申請	0	0	—
	合格	0	0	—
エンデュランス2級	申請	28	27	96.4%
	合格	28	22	78.6%
1級障害	申請	8	9	112.5%
	合格	6	6	100.0%
1級馬場	申請	111	142	127.9%
	合格	90	114	126.7%
ウエスタン1級	申請	0	0	—
	合格	0	0	—
エンデュランス1級	申請	1	0	0.0%
	合格	1	0	0.0%
合 計	申請	10,470	10,902	104.1%
	合格	10,223	10,559	103.3%

なお、技能認定1・2級合格者のうち、(公社)日本馬術連盟の定める騎乗者資格B級への移行措置者は215名であった。

—別表(3)

別表(3)

平成 29 年度 日本馬術連盟騎乗者資格 B 級移行者数

(単位：名)

技能 認定	障害		馬場		エンデュランス		合計
	1 級	2 級	1 級	2 級	1 級	2 級	
人数	0	98	7	94	0	16	215
	98		101		16		
B 級			馬場馬術限定		エンデュランス 限定		
	日本馬術連盟騎乗者資格 B 級						

② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として、乗馬技術の向上と馬との親和を図るためポニーを使った技能認定を行い、合格者に認定バッジを交付した。

認定登録者数は 394 名であった。

—別表(4)

別表(4)

平成 29 年度 ポニーライダー登録者数

(単位：名)

年度	28 年度	29 年度	前年度比
5 級	198	201	101.5%
4 級	53	78	147.2%
3 級	72	68	94.4%
2 級	50	24	48.0%
1 級	25	23	92.0%
合計	398	394	99.0%

(4) 普及乗馬大会

① 全国普及乗馬大会

一般市民を対象として、乗馬技術の向上と相互交流を図るため、5 月 12 日～14 日の 3 日間、御殿場市馬術・スポーツセンターで開催した。

② 地区普及乗馬大会

一般市民を対象にした各地区の乗馬大会を共催した。19 地区振興会、1 団体会員において開催した。1 地区（長野地区）は、会場の関係で中止となった。

(5) 乗用馬取扱講習会事業

一般市民を対象として乗用馬の生態、飼育等の講習会を開催して、乗馬の普及を目的とした講習会を開催した。

今年度は平成30年2月28日、3月1日の2日間で、今治市のまうまハイランドにおいて、馬の安全な取扱いについての講習会を開催した。受講者は本協会の有資格指導者1名、観光業関係者3名、のまうまハイランド飼育担当者3名であった。

(6) 乗馬普及広報事業

乗馬の健全な普及を図るため、乗馬に関する情報等をホームページに掲載し、広く乗馬の魅力を発信する他、様々なイベントを利用して広報に努め、地区乗馬倶楽部振興会等で実施する試乗会や普及乗馬大会等を地区乗馬倶楽部振興会のホームページやマスコミにも積極的に広報するよう依頼した。

また、本協会のホームページに様々な乗馬に関することについて掲載し乗馬の普及を図った。昨年に続き、女性向け情報サイトへ9月と平成30年2月に乗馬に関する記事を掲載し、広く訴求した。

6. 乗馬施設関係事業

(1) 乗馬施設再貸付事業

乗馬施設等が乗馬普及に必要な動産の整備を行うにあたり、申請書に基づき審査の上、(公財)畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受け、乗馬施設等に再貸付を行った。

6乗馬施設へ7件、貸付総額34,668,000円の乗馬施設再貸付を実施した。一別表(5)

別表(5)

平成29年度 (公財)畜産近代化リース協会関係 事業実施状況(新規)

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	貸付金額(円)	貸付開始日
ウイル・スタッド	ホイルローダー	1	4,168,800	5月1日
佐倉ライディングクラブ	〃	1	3,294,000	7月1日
ドレッサー・ジュ・ステーブル・テルイ	簡易式厩舎	1	7,967,160	8月1日
カナディアンキャンプ乗馬クラブ	馬積載箱	1	5,393,520	12月1日
公益社団法人東京乗馬倶楽部	トラクター	1	6,445,440	〃
カナディアンキャンプ乗馬クラブ	ワゴン車	1	3,781,080	平成30年2月1日
平沢ライディングガーデン	ホイルローダー	1	3,618,000	平成30年3月1日
合計	7件		34,668,000	

(2) 乗馬施設費利子補給事業

乗馬施設等が借入金で新規に乗馬施設の整備を行う場合、申請書に基づき書類審査及び現地確認を行い、適正であった案件を利子補給対象としている。

なお、平成 20 年度から新規の応募は受け付けていない。

(3) 優良乗馬施設認定事業

利用者の安全や周辺環境等に配慮した優良乗馬施設を認定するため、申請に基づき現地調査及び優良乗馬施設認定審査委員会の審査を経て乗馬施設を新規に認定すると共に、更新申請がある乗馬施設を認定するため、平成 30 年 3 月 19 日に J R A 新橋分館で優良乗馬施設認定審査委員会を開催した。173 乗馬施設が認定されている。

7. 乗用馬整備関係事業

(1) 乗用馬防疫推進事業

(公財) 全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて、下記の事業を行った。

乗用馬防疫推進委員会を開催し、効率的かつ円滑な事業推進及び当該事業の達成目標等の確認のため、8 月 16 日学識経験者からなる委員会を開催した。

また、自己評価結果の検証を行うため、平成 30 年 3 月 9 日に J R A 新橋分館で第 2 回委員会を開催した。

事業内容については、乗馬普及を目的として登録している乗用馬であって、軽種馬防疫協議会が指定する予防ワクチンのうち、馬インフルエンザワクチンを義務とし 2 種類以上の予防ワクチンを所定のワクチンプログラムに基づいて接種した馬を対象に実馬確認検査を行い、合格馬 4,844 頭に対し予防接種費の補助金を交付した。

(2) 乗馬活動保険推進事業

J R A からの助成を受けて、乗馬活動保険推進事業活動中に発生する様々なトラブルから問題を回避するため、乗馬クラブが加入する傷害・賠償保険金額（年間）に、実馬確認検査に合格した 4,844 頭に補助金を交付した。

(3) 在来馬乗用化推進事業

在来馬を飼育し、これから活用とする施設に対して講師を派遣し馴致調教を行う現地講習会を、全国各地で在来馬を飼育活用している関係者ならびに公設動物園の飼育担当者を招集して馴致調教について学ぶ集合講習会を開催した。

・現地講習会

開催期間：6 月 27 日～29 日

会場：あやまる牧場（鹿児島県奄美市）

トカラ馬の飼養管理者を対象に馴致と基礎調教を指導

受講者：39名

・集合講習会

開催期間：9月5日～10日

会場：のまうまハイランド（愛媛県今治市）

野間馬の飼養管理者を対象に飼育管理、馴致調教に関する講習及び「第18回
ちびっこ・のまうま祭り」におけるイベント運営指導

受講者：11名

（4）馬の流通に係る調教技術向上推進事業

（公財）全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて下記の事業を行った。

① 馬の流通に係る調教技術向上推進事業

馬の生産地において、これまで講習を行った人材の中から優れた人材を活用して、各地域の生産団体によって選抜された若馬に対し3ヵ月間の馴致調教を行い、乗用馬としての付加価値を向上させ公設市場への上場を果たした。

また、根釧地域において乗用馬の流通を活性化させるためのマーケティング研修を、平成30年2月18日に開催した。

② 事業推進委員会開催事業

馬の流通に係る調教技術向上推進委員会を平成30年3月12日にJRA新橋分館で開催した。

（5）引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業

1）馬の多様な利活用を推進するための講習会開催等事業

JRAの助成を受け、全国各地において実施されている馬を活用した活動において、安全に馬を取り扱える人材の養成等のため、障がい者・ホースセラピー、観光・地域振興、子ども・教育に関する講習会等を開催した。

・講習会の開催

① 「障がい者が馬を楽しむための講習会」

開催期間：7月1日～2日

会場：JRA馬事公苑 宇都宮事業所（栃木県宇都宮市）

参加者：60名（延べ）

② 「対州馬の利活用に対する展望 ～観光からホースセラピーまで～」

開催期間：7月9日～10日

会 場：対馬市上県地域活性化センター、目保呂ダム馬事公園（長崎県対馬市）

参加者：101名（延べ）

③「スポーツ流鏑馬による地域おこしに関するワークショップ」

「流鏑馬クリニック」

開催期間：8月5日～6日

会 場：十和田市総合文化センター、十和田乗馬倶楽部（青森県十和田市）

参加者：121名（延べ）

④「離島における馬の活用における展望 ～教育・観光・地域～」

開催期間：8月26日～27日

会 場：あわしま牧場、栗島浦村役場（新潟県岩船郡栗島浦村）

参加者：143名（延べ）

⑤「教育活動の中での馬」

開催日：11月5日

会 場：ハーモニイセンター蓼科ポニークラブ（長野県茅野市）

参加者：38名（延べ）

⑥「馬を介在させたメンタルヘルス研修会」

開催日：11月14日

会 場：アイ・アイ・アイランド（大阪府四條畷市）

参加者：60名（延べ）

⑦「馬の多様な利活用に関する講習会 in 沖縄」

開催日：11月16日

会 場：沖縄こどもの国（沖縄県沖縄市）

参加者：36名（延べ）

・事業推進委員会

4月17日、8月31日、12月8日

・平成30年 第1回事業推進委員会

平成30年より馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業と事業名を変更して平成30年3月23日にJRA新橋分館において開催した。

2) 障がい者乗馬・ホースセラピー活動を支援する事業

JRAの助成を受け、広く国内に障がい者乗馬・ホースセラピー活動を普及する為、安全性を始めとする馬の取り扱いや適切な対応がとれるよう海外より講師を招いての講習会を下記の通り開催した。

・講習会の開催

① 障がい者が安全で楽しく乗馬ができるための講習会

講 師：メアリー・ロングデン、スザンヌ・ヴォン・ディッツェ

開催期間：5月22日～23日

会 場：三木ホースランドパーク（兵庫県三木市）

受 講 生：47名

② HETI・インストラクタートレーニングプログラム（レベルⅠ）講習会（第Ⅰ相）

講 師：メアリー・ロングデン、アン・オーシャリー

開催期間：11月23日～25日

会 場：JRA馬事公苑（栃木県宇都宮市）

受 講 生：8名 聴講生：10名

③ HETI・インストラクタートレーニングプログラム（レベルⅠ）講習会（後半）

平成30年より障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業と事業名を変更して開催した。

講 師：メアリー・ロングデン、アン・オーシャリー

開催期間：平成30年3月14日～17日

会 場：JRA馬事公苑（栃木県宇都宮市）

受 講 生：8名 聴講生：8名

・事業推進委員会

4月17日、8月31日、12月8日

・平成30年 第1回事業推進委員会

平成30年より障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業と事業名を変更して平成30年3月23日にJRA新橋分館において開催した。

・事例収集・分科会

① 開催期間：6月27日～29日

会 場：奄美共生園（鹿児島県奄美市）

内 容：奄美共生園における取り組みの調査・検討

② 開催期間：9月18日～20日

会 場：金沢リハビリテーションアカデミー（石川県金沢市）

内 容：金沢リハビリテーションアカデミーにおける取り組みの調査・検討

③ 開催日：11月19日

会 場：ネーブルパークポニー牧場（茨城県古河市）

内 容：ネーブルパークポニー牧場・ネーブルの会における取り組みの調査・検討

3) 引退競走馬のセカンドキャリアを支援する事業

JRAの助成を受け、乗馬クラブ等で引退馬がより受け入れられるよう、転用促進等を活発化させるための環境づくりや方向性について検討する為の委員会を設置した。

また、海外より講師を招いての引退競走馬の更なる乗馬や馬術における活用と転用促進を目的とした講習会を下記のとおり東西2カ所で開催した。

・講習会の開催

引退競走馬でリオデジャネイロオリンピック総合馬術競技に出場したボイド・マーティン氏の講習会

① 開催期間：12月4日～6日

会 場：三木ホースランドパーク

受 講 者：14名 聴講者：13名

② 開催日：12月7日

会 場：JRA東京競馬場

受 講 者：67名

・事業推進委員会

4月18日、8月22日、12月19日

・平成30年 第1回事業推進委員会

平成30年より民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業と事業名を変更して平成30年3月27日にJRA新橋分館において開催した。

・分科会の開催

① 引退競走馬の養老余生に関する分科会

開 催 日：10月19日

② 引退競走馬のリトレーニングに関する分科会

開 催 日：10月30日

8. 乗馬指導者養成関係事業

一般市民を安全に乗馬指導できる乗馬関係者を養成するため、下記の事業を行った。

(1) 乗馬指導者養成講習会

① 初 級

初級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、乗馬に関する知識及び技術向上を目的として、本協会資格審査委員が、ブリティッシュ部門7会場、ウエスタン部門2会場で講習会を開催した。

<ブリティッシュ> 開催期間：6月26日～9月6日(1会場3日間)

受 講 者：136名

<ウエスタン> 開催期間：6月21日～6月28日（1会場3日間）
受講者：19名

② 中級・上級

中級・上級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、より高度な知識及び技術の向上を目的として、ブリティッシュ部門中級・上級とウエスタン部門上級を合同で開催し、ウエスタン部門中級は初級と合同でそれぞれ東西2会場にて開催した。

<ブリティッシュ中級・上級> <ウエスタン上級>

開催期間：（東日本）9月5日～6日

（西日本）8月29日～30日

受講者：（東日本）B中級16名 B上級0名 W上級2名

（西日本）B中級5名 B上級4名 W上級6名

<ウエスタン中級> 開催期間：6月21日～6月28日（1会場3日間）

受講者：（東日本）2名

（西日本）1名

（2）乗馬指導者資格認定

① 乗馬指導者資格認定試験

ブリティッシュ部門の初級認定試験及び中級・上級、ウエスタン部門上級の学科試験を10月24日に全国7カ所において一斉に開催（関西地域の初級は台風21号の影響で11月28日に延期）し、中級・上級・ウエスタン部門上級の実技・面接試験は東西2カ所に分け、東日本地域は11月14日山梨県馬術競技場において、西日本地域は11月21日福岡県馬術競技場において開催した。

また、ウエスタン部門の初級・中級においても東西2カ所に分け10月17日に東日本地域は、風薫る丘みちのく乗馬クラブにおいて、西日本地域は福岡県馬術競技場において開催した。

—別表(6)

② 乗馬指導者資格認定試験問題作成委員会

乗馬指導者の資格認定における試験問題の作成及び実施方法について、6月6日に委員会を開催した。

今年度より新たにウエスタン部門の上級乗馬指導者資格認定制度を実施するため、7月28日にウエスタン部門の委員会を開催した。

また、次年度の乗馬指導者資格認定の実施方法について検討する委員会を平成30年3月13日に開催した。

なお、会場は全てJRA新橋分館において行った。

③ 資格審査員研修会

乗馬指導者資格審査委員に対し、実技試験の審査眼の統一を図り、試験内容の検討のため

め、6月6日にJRA新橋分館において実務研修を開催した。

④ 合否判定会議

12月12日にJRA新橋分館において乗馬指導者資格認定試験の合否判定会議を行い、審議終了後それぞれの資格認定試験改善のため検討会を開催した。

<ブリティッシュ> 100名合格（初級82名、中級14名、上級4名）

<ウエスタン> 15名合格（初級6名、中級2名、上級7名）

別表(6)

平成 29 年度乗馬指導者養成講習会、資格認定試験

受講者数……191名 受験者数……175名 合格者数……115名

(単位：名)

区分	地域	会場	養成講習会			資格認定試験					
			期間	申請者	受講者	申請者	受験者	合格者	不合格者	合格率	
初級	ブリテイッシュ	北海道	ノーザンホースパーク	6/26～6/28	13	13	12	12	8	4	66.7%
		東北	ルネサンス棚倉	7/3～7/5	15	14	12	12	8	4	66.7%
		関東	中島トピアシュタール	9/4～9/6	59	57	51	50	31	19	62.0%
		北陸・中部	愛知県森林公園乗馬施設	6/26～6/28	23	23	23	23	19	4	82.6%
		関西	乗馬クラブクインズインオリンピックパーク	7/10～7/12	17	17	16	16	9	7	56.3%
		中国・四国	エヒメ乗馬クラブ	7/18～7/20	7	7	8	7	6	1	85.7%
		九州	豊後大野市三重町総合グラウンド馬術場	7/11～7/13	6	5	2	2	1	1	50.0%
	小計				140	136	124	122	82	40	67.2%
	ウエスタン	東日本	風薫る丘みちのく乗馬クラブ	6/21～6/23	9	9	7	7	3	4	42.9%
		西日本	福岡県馬術競技場	6/26～6/28	10	10	10	10	3	7	30.0%
		小計				19	19	17	17	6	11
	初級合計				159	155	141	139	88	51	63.3%
	中級	ブリテイッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	9/5～9/6	18	16	16	16	12	4
西日本			福岡県馬術競技場	8/29～8/30	6	5	5	5	2	3	40.0%
小計				24	21	21	21	14	7	66.7%	
ウエスタン		東日本	風薫る丘みちのく乗馬クラブ	6/21～6/23	2	2	2	2	1	1	50.0%
		西日本	福岡県馬術競技場	6/26～6/28	2	1	1	1	1	0	100%
小計				4	3	3	3	2	1	66.7%	
中級合計				28	24	24	24	16	8	66.7%	
上級	ブリテイッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	9/5～9/6	0	0	0	0	0	0	0.0%
		西日本	福岡県馬術競技場	8/29～8/30	4	4	4	4	4	0	100%
	小計				4	4	4	4	4	0	100%
	ウエスタン	東日本	山梨県馬術競技場	9/5～9/6	2	2	2	2	2	0	100%
		西日本	福岡県馬術競技場	8/29～8/30	6	6	6	6	5	1	83.3%
	小計				8	8	8	8	7	1	87.5%
上級合計				12	12	12	12	11	1	91.7%	
合計				199	191	177	175	115	60	65.7%	

- 注) 1. ブリテイッシュ上級の東日本地域は、申し込みがないため、開催せず。
2. ブリテイッシュ中級・上級・ウエスタン上級指導者養成講習会と資格認定試験は合同で実施。
3. 初級乗馬指導者資格認定試験のブリテイッシュは10月24日(関西地域は台風21号の影響により実施日を11月28日(延期)に、ウエスタン(中級含む)は10月17日に実施。
4. ブリテイッシュ中級・上級・ウエスタン上級乗馬指導者資格認定試験の学科は10月24日、実技・面接については東日本が11月14日、西日本は11月21日に実施。

(3) 乗馬指導者巡回指導

乗馬指導者資格取得者を対象に乗馬技術及び調教技術の向上を図るため、プリティッシュ部門の巡回指導を2地区で実施した。 ー別表(7)

講師 中村 勇 氏 (乗馬指導者資格審査副委員長・北勢ライディングファーム代表)

別表(7)

平成 29 年度 乗馬指導者巡回指導実施一覧

地区	会場	開催期間	受講者数
北 関 東	中島トニアシュタール	平成 30 年 1 月 17 日～19 日	10 名
北部九州	福岡県馬術競技場	平成 30 年 2 月 6 日～8 日	5 名
東 海	愛知県森林公園乗馬施設	平成 30 年 3 月 6 日～8 日	中止(※)
			15 名

※東海地区は申込者なし

(4) 乗馬指導者競技会

① 全国乗馬指導者競技会

乗馬指導者の技術向上を図るため5月12日～13日の2日間、御殿場市馬術・スポーツセンターで、プリティッシュ部門とウエスタン部門を同時に開催した。

② 各地域の乗馬指導者競技会

7地域において一般の競技と併せて開催した。

ー別表(8)

別表(8)

平成 29 年度 各地域の乗馬指導者競技会

開催地域	開催期間	会場
北海道	10月14日～15日	ノーザンホースパーク
東北	9月23日～24日	乗馬クラブエクセラ
関東	9月6日～7日	中島トニアシュタール
北陸・中部	10月27日～28日	御殿場市馬術・スポーツセンター
関西	11月24日～25日	水口乗馬クラブ
中国・四国	8月25日～26日	蒜山ホースパーク
九州	平成 30 年 1 月 20 日～21 日	上村乗馬苑

(5) 乗馬指導者資格更新講習会

既に乗馬指導者資格を取得している者を対象に乗馬指導の知識のレベルアップを図るため

に、東北地域（仙台市）、北陸中部地域（名古屋市）、中国四国地域（広島市）、九州地域（沖縄県うるま市）の4地域において人馬の基礎訓練・安全対策等について講習会を開催した。

① 東北地域（駅前のぞみビル）

開催日：平成30年2月6日 受講者16名

② 北陸中部地域（ウインクあいち）

開催日：平成30年2月13日 受講者40名

③ 中国四国地域（RCC文化センター）

開催日：平成30年1月23日 受講者34名

④ 九州地域（美原公民館）

開催日：平成30年3月3日 受講者9名

平成 29 年 度

会計決算報告書

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会

貸借対照表
平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	153,199,232	140,101,196	13,098,036	
現金	114,769	42,092	72,677	
普通預金	93,084,463	80,059,104	13,025,359	
定期預金	60,000,000	60,000,000	0	
未収金	8,920,891	5,375	8,915,516	
仮払金	956,640	508,150	448,490	
概算払金	186,180	290,770	△ 104,590	
立替金	0	244,458	△ 244,458	
貯蔵品	6,217,755	3,982,427	2,235,328	
流動資産合計	169,480,698	145,132,376	24,348,322	
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
退職給付引当資産	38,548,921	46,742,894	△ 8,193,973	
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	16,000,000	0	
再貸付事業積立資産	39,645,545	40,713,616	△ 1,068,071	
特定資産合計	94,194,466	103,456,510	△ 9,262,044	
(2) その他固定資産				
備品	1,977,427	2,195,683	△ 218,256	
ソフトウェア	764,103	492,002	272,101	
電話加入権	372,008	372,008	0	
その他固定資産合計	3,113,538	3,059,693	53,845	
固定資産合計	97,308,004	106,516,203	△ 9,208,199	
資産合計	266,788,702	251,648,579	15,140,123	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	19,715,958	4,881,276	14,834,682	
仮受金	13,580,880	14,742,914	△ 1,162,034	
預り金	1,954,327	480,667	1,473,660	
賞与引当金	4,285,770	3,422,726	863,044	
流動負債合計	39,536,935	23,527,583	16,009,352	
2. 固定負債				
退職給付引当金	38,548,921	46,742,894	△ 8,193,973	
固定負債合計	38,548,921	46,742,894	△ 8,193,973	
負債合計	78,085,856	70,270,477	7,815,379	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	188,702,846	181,378,102	7,324,744	
(うち基本資産への充当額)	0	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(55,645,545)	(56,713,616)	(△1,068,071)	
正味財産合計	188,702,846	181,378,102	7,324,744	
負債及び正味財産合計	266,788,702	251,648,579	15,140,123	

貸借対照表内訳表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	2,915,549	105,655,176	44,628,507		153,199,232	
現金	0	0	114,769		114,769	
普通預金	2,915,549	45,655,176	44,513,738		93,084,463	
定期預金	0	60,000,000	0		60,000,000	
未収金	8,915,891	5,000	0		8,920,891	
仮払金	956,640	0	0		956,640	
概算払金	186,180	0	0		186,180	
貯蔵品	6,217,755	0	0		6,217,755	
流動資産合計	19,192,015	105,660,176	44,628,507	0	169,480,698	
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
退職給付引当資産	30,839,137	3,469,403	4,240,381		38,548,921	
乗馬振興事業特別積立資産	0	0	16,000,000		16,000,000	
再貸付事業積立資産	0	39,645,545	0		39,645,545	
特定資産合計	30,839,137	43,114,948	20,240,381	0	94,194,466	
(2) その他固定資産						
備品	1,588,401	175,062	213,964		1,977,427	
ソフトウェア	678,963	38,313	46,827		764,103	
電話加入権	271,566	40,921	59,521		372,008	
その他固定資産合計	2,538,930	254,296	320,312	0	3,113,538	
固定資産合計	33,378,067	43,369,244	20,560,693	0	97,308,004	
資産合計	52,570,082	149,029,420	65,189,200	0	266,788,702	
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金	2,400,284	8,640	17,307,034		19,715,958	
仮受金	2,098,856	7,875,148	3,606,876		13,580,880	
預り金	0	1,339,113	615,214		1,954,327	
賞与引当金	3,428,616	385,719	471,435		4,285,770	
流動負債合計	7,927,756	9,608,620	22,000,559	0	39,536,955	
2. 固定負債						
退職給付引当金	30,839,137	3,469,403	4,240,381		38,548,921	
固定負債合計	30,839,137	3,469,403	4,240,381	0	38,548,921	
負債合計	38,766,893	13,078,023	26,240,940	0	78,085,856	
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)	
2. 一般正味財産						
一般正味財産合計	13,803,189	135,951,397	38,948,260	0	188,702,846	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(39,645,545)	(16,000,000)		(55,645,545)	
正味財産合計	13,803,189	135,951,397	38,948,260	0	188,702,846	
負債及び正味財産合計	52,570,082	149,029,420	65,189,200	0	266,788,702	

注) 乗馬施設活性化支援事業において(公財)畜産近代化リース協会より借受け、登録乗馬施設に貸付けを行っている再貸付物件が203,540,868円ある。

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	8,111	13,672	△ 5,561	
特定預金受取利息収益	8,111	13,672	△ 5,561	
受取入会金及び会費	3,060,000	3,080,000	△ 20,000	
受取入会金及び会費	3,060,000	3,080,000	△ 20,000	
事業収益	101,261,986	102,691,372	△ 1,429,386	
登録料収益	44,908,320	44,065,600	842,720	
指導者資格認定試験料収益	2,930,000	3,012,800	△ 82,800	
乗馬技能認定料収益	46,283,400	44,840,520	1,442,880	
再貸付事務手数料収益	748,826	1,737,604	△ 988,778	
資格認定テキスト収益	6,391,440	9,034,848	△ 2,643,408	
受取補助金等	191,677,406	138,770,068	52,907,338	
乗馬普及事業助成金	188,684,730	132,694,613	55,990,117	
内国産馬生産奨励事業助成金	2,992,676	6,075,455	△ 3,082,779	
雑収益	7,623	16,481	△ 8,858	
受取利息収益	7,623	16,481	△ 8,858	
経常収益計	296,015,126	244,571,593	51,443,533	
(2) 経常費用				
事業費	276,051,338	222,586,764	53,464,574	
役員報酬	6,524,000	6,508,525	15,475	
給与手当	51,799,864	42,218,209	9,581,655	
社会保険料	9,037,552	7,517,253	1,520,299	
福利厚生費	519,250	251,735	267,515	
馬とのふれあい補助費	29,865,480	23,911,267	5,954,213	
乗用馬保健衛生補助費	33,174,259	32,369,032	805,227	
乗馬施設整備補助費	28,531,600	27,392,360	1,139,240	
競技会奨励費及び賞品費	3,456,704	3,558,091	△ 101,387	
会議及び講習会費	23,484,028	11,346,029	12,137,999	
旅費交通費	48,359,561	22,332,167	26,027,394	
従事員賃金	3,664,188	3,357,437	306,751	
広報費	9,558,378	9,065,073	493,305	
備品及び借料費	6,016,821	6,086,997	△ 70,176	
減価償却費	383,994	173,889	210,105	
消耗品費	408,947	282,521	126,426	
図書印刷製本費	5,945,228	13,169,760	△ 7,224,532	
通信費	2,676,926	2,256,632	420,294	
光熱及び水料	389,624	450,594	△ 60,970	
役務費	3,564,615	3,415,737	148,878	
租税公課	2,087,200	2,576,000	△ 488,800	
雑費	1,712,079	576,750	1,135,329	
退職給付費用	4,122,931	3,653,094	469,837	
賞与引当金繰入	768,109	117,612	650,497	
管理費	11,196,560	9,708,244	1,488,316	
役員報酬	806,000	804,425	1,575	
給与手当	6,402,230	5,217,982	1,184,248	
社会保険料	1,117,001	929,312	187,689	
福利厚生費	64,177	31,113	33,064	
会議及び講習会費	36,012	22,921	13,091	
旅費交通費	445,566	438,470	7,096	
従事員賃金	87,829	118,544	△ 30,715	

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
備品及び借料費	731,391	753,087	△ 21,696	
減価償却費	26,561	12,798	13,763	
消耗品費	42,985	33,791	9,194	
図書印刷製本費	35,861	85,069	△ 49,208	
通信費	286,996	263,637	23,359	
光熱及び水料	48,156	55,691	△ 7,535	
役務費	379,187	422,169	△ 42,982	
雑費	82,097	53,192	28,905	
退職給付費用	509,576	451,506	58,070	
賞与引当金繰入	94,935	14,537	80,398	
経常費用計	287,247,898	232,295,008	54,952,890	
評価損益等調整前当期経常増減額	8,767,228	12,276,585	△ 3,509,357	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	8,767,228	12,276,585	△ 3,509,357	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	4	△ 4	
雑費（経常外）	1,442,484	0	1,442,484	
雑費（経常外）	1,442,484	0	1,442,484	
経常外費用計	1,442,484	4	1,442,480	
当期経常外増減額	△ 1,442,484	△ 4	△ 1,442,480	
当期一般正味財産増減額	7,324,744	12,276,581	△ 4,951,837	
一般正味財産期首残高	181,378,102	169,101,521	12,276,581	
一般正味財産期末残高	188,702,846	181,378,102	7,324,744	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	188,702,846	181,378,102	7,324,744	

正味財産増減計算書内訳表
平成28年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性化登録事業					
				共通	小計				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	2,853	2,853	196	3,070	0	1,992	0	8,111	
特定預金受取利息収益	2,853	2,853	196	3,070	0	1,992	0	8,111	
受取入会金及び会費	1,530,000	1,530,000	0	0	0	1,530,000	0	3,060,000	
受取入会金及び会費	1,530,000	1,530,000	0	0	0	1,530,000	0	3,060,000	
事業収益	55,604,840	55,604,840	44,908,320	748,826	0	45,657,145	0	101,261,986	
登録料収益	0	0	44,908,320	0	0	44,908,320	0	44,908,320	
指導者資格認定試験料収益	2,930,000	2,930,000	0	0	0	0	0	2,930,000	
乗馬技能認定料収益	46,283,400	46,283,400	0	0	0	0	0	46,283,400	
再貸付事務手数料収益	0	0	0	748,826	0	0	0	748,826	
資格認定テキスト収益	6,391,440	6,391,440	0	0	0	0	0	6,391,440	
受取補助金等	180,527,066	180,527,066	3,029,795	1,928,052	0	4,957,847	0	191,677,406	
乗馬普及事業補助金	177,534,390	177,534,390	3,029,795	1,928,052	0	4,957,847	0	188,684,730	
内国産馬生産奨励事業補助金	2,992,676	2,992,676	0	0	0	0	0	2,992,676	
雑収益	5,970	5,970	410	421	0	831	0	7,623	
受取利息収益	5,970	5,970	410	421	0	831	0	7,623	
経常収益計	237,670,729	237,670,729	47,938,721	2,650,369	0	50,619,090	0	286,015,126	
(2) 経常費用									
事業費	265,482,586	265,482,586	6,858,753	3,709,999	0	10,568,752	0	276,051,338	
役員報酬	5,864,300	5,864,300	403,150	256,550	0	659,700	0	6,524,000	
給与手当	46,561,676	46,561,676	3,201,116	2,037,073	0	5,238,188	0	51,799,854	
社会保険料	8,123,643	8,123,643	558,500	355,409	0	913,909	0	9,037,552	
福利厚生費	466,742	466,742	32,088	20,420	0	52,508	0	519,250	
馬とのふれあい補助費	29,865,480	29,865,480	0	0	0	0	0	29,865,480	
乗用馬保健衛生補助費	33,174,259	33,174,259	0	0	0	0	0	33,174,259	
乗馬施設整備補助費	28,531,600	28,531,600	0	0	0	0	0	28,531,600	
騎技会奨励費及び賞品費	3,456,704	3,456,704	0	0	0	0	0	3,456,704	
会議及び講習会費	23,454,564	23,454,564	18,006	11,458	0	29,464	0	23,484,028	
施設交通費	47,833,587	47,833,587	364,203	141,771	0	525,974	0	48,359,561	
従事員賃金	3,023,208	3,023,208	613,034	27,946	0	640,980	0	3,664,188	
広報費	9,558,378	9,558,378	0	0	0	0	0	9,558,378	
備品及び燃料費	5,418,411	5,418,411	365,695	232,715	0	598,410	0	6,016,821	
減価償却費	362,263	362,263	13,281	8,450	0	21,731	0	383,994	
消耗品費	373,777	373,777	21,493	13,677	0	35,170	0	408,947	
図書印刷製本費	5,400,727	5,400,727	533,091	11,410	0	544,501	0	5,945,228	
通信費	2,427,488	2,427,488	158,121	91,317	0	249,438	0	2,676,926	
光熱及び水料	350,224	350,224	24,078	15,322	0	39,400	0	389,624	
役務費	3,254,371	3,254,371	189,594	120,650	0	310,244	0	3,564,615	
租税公課	2,087,200	2,087,200	0	0	0	0	0	2,087,200	
雑費	1,497,544	1,497,544	41,049	173,486	0	214,535	0	1,712,079	

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計	備考
	乗馬普及事業		乗馬施設等 登録事業		乗馬施設活性化支援事業					
	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性化支援事業	共通	小計				
退職給付費用	3,706,005	3,706,005	254,788	162,138	0	416,926	—	4,122,931		
貸与引当金繰入	690,435	690,435	47,467	30,207	0	77,674	—	768,109		
管理費	—	—	—	—	—	—	11,196,560	11,196,560		
役員報酬	—	—	—	—	—	—	806,000	806,000		
給与手当	—	—	—	—	—	—	6,402,230	6,402,230		
社会保険料	—	—	—	—	—	—	1,117,001	1,117,001		
福利厚生費	—	—	—	—	—	—	64,177	64,177		
会議及び講習会費	—	—	—	—	—	—	36,012	36,012		
旅費交通費	—	—	—	—	—	—	445,566	445,566		
従業員賃金	—	—	—	—	—	—	87,829	87,829		
備品及び消耗料費	—	—	—	—	—	—	731,391	731,391		
減価償却費	—	—	—	—	—	—	26,561	26,561		
消耗品費	—	—	—	—	—	—	42,985	42,985		
図書印刷製本費	—	—	—	—	—	—	35,861	35,861		
通信費	—	—	—	—	—	—	286,996	286,996		
光熱及び水料	—	—	—	—	—	—	48,156	48,156		
役務費	—	—	—	—	—	—	379,187	379,187		
雑費	—	—	—	—	—	—	82,097	82,097		
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	509,576	509,576		
貸与引当金繰入	—	—	—	—	—	—	94,935	94,935		
経常費用計	265,482,586	265,482,586	6,858,753	3,709,999	0	10,568,752	11,196,560	287,247,838		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 27,811,857	△ 27,811,857	41,079,968	△ 1,029,630	0	40,050,338	△ 3,471,253	8,767,228		
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0		
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0		
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期経常増減額	△ 27,811,857	△ 27,811,857	41,079,968	△ 1,029,630	0	40,050,338	△ 3,471,253	8,767,228		
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0		
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0		
(2) 経常外費用	0	0	0	1,442,484	0	1,442,484	0	1,442,484		
雑費(経常外)	0	0	0	1,442,484	0	1,442,484	0	1,442,484		
雑費(経常外)	0	0	0	1,442,484	0	1,442,484	0	1,442,484		
当期経常外増減額	0	0	0	△ 1,442,484	0	△ 1,442,484	0	△ 1,442,484		
他会計振替額	32,000,000	32,000,000	△ 34,000,000	1,625,587	0	△ 32,374,413	374,413	0		
当期一般正味財産増減額	4,188,143	4,188,143	1,079,968	△ 846,527	0	6,233,441	△ 3,096,849	7,324,744		
一般正味財産期首残高	9,615,046	9,615,046	86,839,101	42,878,855	0	129,777,956	42,045,100	191,378,102		
一般正味財産期末残高	13,803,189	13,803,189	93,919,069	42,032,328	0	135,951,397	38,948,260	188,702,846		
指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0		
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0		
Ⅱ 正味財産期末残高	13,803,189	13,803,189	93,919,069	42,032,328	0	135,951,397	38,948,260	188,702,846		

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用し、直接法により表示している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によってい

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

なし。

4. 特定資産の増減額及びその残額

特定資産の増減額及びその残額は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	46,742,894	4,632,507	12,826,480	38,548,921
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
再貸付事業積立資産	40,713,616	374,413	1,442,484	39,645,545
合 計	103,456,510	5,006,920	14,268,964	94,194,466

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当預金	38,548,921	0	0	38,548,921
乗馬振興事業特別積立預金	16,000,000	0	16,000,000	0
再貸付事業積立預金	39,645,545	0	39,645,545	0
合 計	94,194,466	0	55,645,545	38,548,921

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備 品	4,720,576	2,743,149	1,977,427
ソフトウェア	2,739,150	1,975,047	764,103
電話加入権	372,008	0	372,008
合 計	7,831,734	4,718,196	3,113,538

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
日本中央競馬 会助成金	日本中央 競馬会	0	92,738,924	92,738,924	0	
競馬振興特別 助成金(3項) 引退競走馬等 の馬の多様な 利活用普及推 進事業	日本中央 競馬会	0	38,771,547	38,771,547	0	
競馬振興特別 助成金(3項) 被災地支援等 における馬と のふれあい活 動事業	日本中央 競馬会	0	24,000,000	24,000,000	0	
畜産振興事業 助成金(4項) 乗用馬防疫推 進事業	全国競馬・ 畜産振興会	0	33,174,259	33,174,259	0	
畜産振興事業 助成金(4項) 馬の流通に係 る調教技術向 上推進事業	全国競馬・ 畜産振興会	0	2,992,676	2,992,676	0	

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	38,548,921
② 会計基準変更時差異の未処理額	0
③ 退職給付引当金 (①+②)	38,548,921

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	4,632,507
② 会計基準変更時差異の費用処理額	0
③ 退職給付費用 (①+②)	4,632,507

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

付 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

区分	科 目	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿残高
特定資産	退職給付引当資産	46,742,894	4,632,507	12,826,480	38,548,921
	乗馬振興事業 特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
	再貸付事業積立資産	40,713,616	374,413	1,442,484	39,645,545
	合 計	103,456,510	5,006,920	14,268,964	94,194,466

2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	3,422,726	4,285,770	3,422,726	0	4,285,770
退職給付引当金	46,742,894	4,632,507	12,826,480	0	38,548,921

(注) 計上の理由及び算定方法については、財務諸表に対する注記に記載している。

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・数量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金 預金 未収金 仮払金 概算払金 貯蔵品	千円保管 普通預金 三菱東京UFJ銀行 本店 (2口座) 三井住友銀行 経堂支店 (4口座) 三菱東京UFJ銀行 自由が丘駅前支店 (2口座)	運転資金として 運転資金として " "	114,769 93,084,463 58,664,711 30,635,592 3,784,160	
	定期預金 三井住友銀行 経堂支店	運転資金として	60,000,000 60,000,000	
	乗馬指導者大会の奨励金等の未使用分 日本中央競馬会からの助成金 乗馬登録料 次年度事業にかかる傷害保険料等 出張旅費 3件	乗馬普及事業の返還分 乗馬普及事業の補助金の未収分 乗馬施設等登録事業の返還分 乗馬普及事業の仮払金 乗馬普及事業の概算払分	8,920,891 105,000 8,810,891 5,000 956,640 186,180	
	「レッツエンジョイライディング」等のテキスト 類 12,173冊 ポニーライダー技能認定の認定バッジ 1,912個	乗馬普及事業のテキストの在庫 乗馬普及事業の認定バッジの在庫	4,871,899 1,545,856	
	流動資産合計			169,480,668
	(固定資産)			
	特定資産			
	退職給付引当資産 乗馬振興事業特別 積立資産 再貸付事業積立 資産 その他 固定資産	普通預金 三井住友銀行 経堂支店 定期預金 三菱東京UFJ銀行 自由が丘駅前支店	役員員に対する退職金の支払に備えた預金 "	38,548,921 4,059,057 34,489,864
		定期預金 三菱東京UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬普及及び振興の事業のために使用する預金	16,000,000
		普通預金 三菱東京UFJ銀行 自由が丘駅前支店 定期預金 三菱東京UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬施設活性化事業の借入れ物件に対する保障の積立預金 "	16,000,000 39,645,545 11,418,294 28,227,251
備品		公益目的保有財産の備品は1,588,401円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益事業等会計として175,062円、法人会計として213,964円の備品を使用している。	1,977,427	
ソフトウェア		公益目的保有財産として678,963円のソフトウェアを使用している。その他、収益事業等会計として38,313円、法人会計として45,827円のソフトウェアを使用している。	764,103	
電話加入権	公益目的保有財産の電話加入権は271,566円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益事業等会計として40,921円、法人会計として59,521円の電話加入権を使用している。	372,008		
固定資産合計			97,808,004	
資産合計			266,798,702	
(流動負債)				
未払金 仮受金 預り金 賞与引当金	印刷物・ホームページ更新料等 12件 消費税 証明書発行手数料等 2件 通信費等の事務管理費 18件 社会保険料 給与手当、退職金等	乗馬普及事業の事業経費 消費税納税分 乗馬施設活性化事業の事業経費 法人会計管理費等の3月の経費支払分 役員員に対する2、3月の社会保険料 職員に対する退職金、3月分残業代	19,715,958 1,600,784 799,500 8,640 1,571,273 2,364,539 13,371,222 13,580,880	
	テキスト販売分 指導者登録料 628人 乗馬登録料 15頭 再貸付事業の貸付料、事務手数料等 収入金 日本中央競馬会からの助成金 公益財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成金	乗馬普及事業の次年度売上分 乗馬施設等登録事業の次年度登録料 " 乗馬施設活性化事業の次年度分 返金予定分 助成金未使用分の返還分 "	16,560 7,536,000 75,000 339,148 800 3,606,076 2,007,296 1,954,327	
	所得税 住民税 乗馬施設再貸付事業に伴う手数料及び貸付金	役員員及び委員等に対する3月分所得税 役員員に対する3月分住民税 乗馬施設活性化事業の事業経費及び手形差額分の現金預かり分	434,514 180,700 1,339,113	
	職員に対する12～3月分の賞与分	職員に対する12～3月分の賞与分	4,285,770	
	流動負債合計			39,536,935
	(固定負債)			
	退職給付引当金	役員員に対するもの	役員員に対する退職金の支払に備えたもの	38,548,921
	固定負債合計			38,548,921
	負債合計			78,085,856
	正味財産			188,702,846

監 査 報 告

平成30年5月15日

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会
会 長 細 野 利 昭 殿

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会

監 事 神 谷 孝 之

監 事 原 口 吉 正

私たち監事は、定款第23条の規定に基づき、平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。